

久我山小学校

ひとりひとりの「学び」を豊かに支える学校図書館

今の学校図書館

知的好奇心を喚起する様々な働きかけや、多様な資料・情報提供を行い、児童の主体的な学びを発達段階に応じて支援し、豊かな学びを支えている。

毎週の「図書館活用の時間」では、多くのクラスが、読書活動を中心に学校図書館を利用している。教科での活用も増え、学習での利用も年々増加している。

児童に学校図書館の印象を聞くと、「心が落ち着く場所」「たくさんの本があって色々な学習で使える場所」という回答が多く上がった。

「学び場」としてだけでなく「居場所」としての利用もあり、多様な児童に対応する役割を担っている。

学校図書館の運営

- 各学年「学校図書館全体計画」「学校図書館年間活用計画」をもとに「学校図書館週予定表」を作成し、計画的に教育課程に組み込む。各教科で年間を通して活用し、言語活動の充実、情報活用能力の育成、探究的な学習の実践を図る。
- 「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能の充実を重視した、蔵書の構築。

1年間の主な活動

通年：授業支援、授業への資料提供

図書館だよりの発行、図書委員会活動(毎月)

テーマ展示、新聞展示、

読書記録の記入(お楽しみ読書券付)

各学期：宮前図書館の団体貸出利用

長期貸出(夏休み・冬休み)

4月：オリエンテーションの実施(全学年)

6月：読書月間

- 図書委員会の読書啓発イベントの開催
- 全校朝読書(読書月間期間の週2回実施)
- おすすめの本カード作成(児童)
- 先生方おすすめの本の展示

8月：蔵書点検

10月：給食食とのコラボ「おはなしこんだて」作成

12月：読書月間(6月の読書月間と同様)

1月：人権週間

2月：図書委員主催イベントの実施

3月：6年生への特別貸出

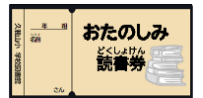
特色ある取組

- 「図書館の割当時間(図書の時間)」は学習のためである事を共通理解し、担任が授業として利活用する。(毎週「学校図書館週予定表」の作成)

- 図書委員会による読書啓発イベントの開催
図書委員おすすめの本作成、POP作成、
「キーワードチャレンジ(本探しゲーム)」

- お楽しみ読書券付き「読書の記録」

記録用紙に所定の冊数又はページ数を達成すると「おたのしみ読書券」がもらえる。1冊プラス券(1枚分)、禁帯出貸出券(3枚分)等、枚数によって受けられる特典が変わる。日常的な積み重ねを楽しく続ける工夫。



- 新聞と本の展示

当日の小学生新聞の1面を掲示し、新聞記事に関連する図書資料を展示(毎日1～2冊)

- 情報活用能力育成のための資料の共有

ロイロノートの資料箱に「情報カード」「出典カード」「読書記録」等の資料を保存し活用。

- 「いのちの日」読み聞かせ(全校朝会/年2回)

「いのちの大切さ」に関する本の選書・提供・展示

- おすすめの本カード作成(読書月間/全児童)



読書月間「おすすめの本(6年生)」



「おはなし こんだてひょう」

これからの学校図書館

- 情報活用能力の育成に、学校全体で継続的に取り組めるよう、ICT 担当と連携し、利用指導に関する体系的な表の作成をめざす。
- 生涯学習を支える「学び方を学ぶ場」のスタート地点として、児童の主体的な学びを支える環境の整備を引き続き進めていく。
- 「読書センター」として、楽しむための読書だけでなく、読書を通し自己の考えを広げたり深めたりするような、内面の成長を促す読書活動の工夫を図っていく。